

# 拡大版

## 防災の日を前に 一人ひとりが考えてください

# 防災への意識改革

68

安全で住みよい  
まちづくり  
ニュース  
防災交通課  
(内208)

毎年、日本列島のどこかで大規模な自然災害が発生しています。今年も七月に台風四号と活発な梅雨前線の影響で九州地方を中心に大雨の被害が出ました。七月十六日には新潟県中越沖地震(マグニチュード6.8)が発生し、現在も被災者の皆さんが不自由な生活を強いられています。

阿久比町でも、平成十二年九月に

発生した「東海豪雨」で家屋が浸水するなどの多大な被害に遭いました。九月一日は「防災の日」です。一九二二(大正十二)年に起きた関東大震災の教訓を忘れないようにと、この時期に多い台風への心構えを含め一九六〇(昭和三十五)年に制定されました。

「防災の日」を前に一人ひとりが防災について考え、災害が発生したときどう行動すればよいのか、今まで連載が続いている「防災への意識改革」を読み返してもらい、いざというときに備えてください。

### 訓練を実施します

九月二日(日)午前七時から英比小  
学校で自主防災会の強化と各団体との連携を目的とした「阿久比町防災訓練」を行います。

今後発生が予測されている東海・東南海・南海地震を想定して、各地区の自主防災会をはじめ阿久比町赤十字奉仕団、阿久比町消防団、協力事業所などの参加を予定しています。

# 大地震に備えるために

いざというときに持ち出せるように日ごろから準備・点検をしましょう



### 1次持ち出し品 家族がそれぞれ持っているとう便利です。

災害後の3日間の食料・水は用意しましょう

#### 非常食(3日分)

カンパン、缶詰、飲料水  
(1人1日3リットル) 栄養補助食品



#### 救急用品

ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、常備薬(消毒薬、解熱剤、風邪薬など)、綿棒、カミソリ、安全ピン、体温計

#### 貴重品

現金(小銭も必要) カード類、預金通帳や  
有価証券の写し、印鑑、身分証明の写し  
(健康保険証や運転免許証など)



#### 衣類

下着、上着、雨具、防災頭巾や帽子、運動靴、軍手、マスク

#### 日用品

洗面用具、タオル、缶切り、マスク、生理用品、紙オムツ  
はらびん、大きなゴミ袋、ティッシュ、ウエットティッシュ、  
トイレットペーパー、筆記用具、メモ帳、せつけん、ちり紙、歯ブラシ



#### 高齢者・障害者

障害者手帳、障害者医療費受給者証、補聴器

#### その他

ナイフ、携帯ラジオ、懐中電灯、  
予備の電池(多めに)、マッチ、ライター、  
非常用ローソク、予備のメガネ、  
笛(家屋の下敷きになった場合など、居場所を知らせるため)



### 2次持ち出し品 避難所生活に役立つ物です。

#### 非常食

レトルト食品、インスタントラーメン、調味料、  
乾物(乾麺・海藻類)

#### 燃料

卓上コンロ、ガスボンベ(1本で約2時間)

#### 衣類

下着、上着、くつ下

#### 日用品

毛布、寝袋、バスタオル、鍋、やかん、  
簡易食器(割り箸、紙コップなど)、  
包装用ラップ、ガムテープ、裁縫セット、使い捨てカイロ

#### その他

ロープ  
ふた付ポリバケツ(水の保管用)  
キャリアカート  
(重いものを運ぶ時)  
自転車



### 避難、救助用にあると便利なもの

消火器、バケツ、のこぎり、  
ハンマー、バール、ジャッキ、  
ヘルメット、ビニールシート、  
段ボールスコップ、  
はしこ



### 避難の心得

- 1 火元を確認しガスメーターの元栓(プロパンは容器バルブも)を閉め、電気のブレーカーをOFFに
- 2 ヘルメットや防災頭巾で頭を保護
- 3 持ち物は最小限にまとめ、身軽に
- 4 外出中の家族には連絡メモを残す、避難場所を決めておく
- 5 避難は徒歩でお年寄りや子供の手をしっかり握って
- 6 近所の人たちと指示された避難場所に
- 7 狭い道、塀のそば、川べりを避けて移動
- 8 正しい情報を得るために携帯ラジオを必携
- 9 あいまいな情報やデマに惑わされないよう冷静に